

頁	新	旧
第 1 編 南相馬市復興総合計画の策定にあたって		
第 3 章 南相馬市を取り巻く現状		
1 東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故からの市民生活の再建		
P 9	<p>(6) 旧警戒区域の復興</p> <p>小高区全域を含む福島第一原子力発電所から半径 2 0 k m 以内の旧警戒区域では、震災後現在においても避難指示が継続され、居住できない状況にあります。<u>市街地の一部では液状化現象も見られる状況から、</u>多くの家屋が倒壊していながら復旧は遅々として進まず、人が住まないことによりまちの荒廃が進行し、市民の帰還意識が低下しています。</p> <p>本市が真の復興を果たすためには旧警戒区域の復興が不可欠であり、市が区域解除の目標としている平成 2 8 年 4 月までに最低限の生活環境を整備するとともに、解除後においても一日も早く震災前と同等以上の魅力的なまちへと再生していかなければなりません。</p>	<p>(6) 旧警戒区域の復興</p> <p>小高区全域を含む福島第一原子力発電所から半径 2 0 k m 以内の旧警戒区域では、震災後現在においても避難指示が継続され、居住できない状況にあります。このような状況から、多くの家屋が倒壊していながら復旧は遅々として進まず、人が住まないことによりまちの荒廃が進行し、市民の帰還意識が低下しています。</p> <p>本市が真の復興を果たすためには旧警戒区域の復興が不可欠であり、市が区域解除の目標としている平成 2 8 年 4 月までに最低限の生活環境を整備するとともに、解除後においても一日も早く震災前と同等以上の魅力的なまちへと再生していかなければなりません。</p>
第 2 編 基本構想		
第 1 章 目指す将来像		
1 . 1 0 年後の将来像		
P 2 0	<p>将来像の趣旨</p> <p>今回策定する総合計画に掲げる施策を行うことにより<u>若者が増え、</u>地域産業を再生する<u>とともに子どもたちの笑顔によってまちの「かがやき」</u>を取り戻し、放射能への不安を払しょくし、医療・介</p>	<p>将来像の趣旨</p> <p>今回策定する総合計画に掲げる施策を行うことにより、地域産業を再生することで「<u>かがやき</u>」を取り戻し、放射能への不安を払しょくし、医療・介護資源の確保を図ることで「<u>やすらぎ</u>」が感じら</p>

	<p>護資源の確保を図る<u>ことなどにより、自然や人とのふれあいの中で「やすらぎ」</u>が感じられ、地域コミュニティの再生を図りながら市民自治を醸成し、市民との協働により「<u>みんなでつくる</u>」南相馬を目指すことから上記の将来像を設定しました。</p> <p>また、復興施策を着実に進めることで、この10年間で本市のさらなる発展への基礎をつくり、<u>すべての市民が幸せを実感できるまち</u>を目指します。</p>	<p>れ、地域コミュニティの再生を図りながら市民自治を醸成し、市民との協働により「<u>みんなでつくる</u>」南相馬を目指すことから上記の将来像を設定しました。</p> <p>また、復興施策を着実に進めることで、この10年間で本市のさらなる発展への基礎をつくることを目指します。</p>
2. 本計画期間に目指す「まちづくりの目標」		
P 2 0	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p>逆境を飛躍に変え、元気で活気に満ちたまち</p> </div> <p>震災により甚大な被害を受けたこの逆境に負けず、温暖な気候や従来からの強み産業など南相馬市の個性や特長を生かし、地域産業の振興や地域の活性化、産業の創出などを通じ、まちに活気を生み出します。<u>このほか</u>、特に小高区については市街地の再整備を推進していきます。</p> <p>今回の震災において全国からさまざまな支援をいただいたことから、その縁を大切にし、「元気な南相馬市」の姿を届けるため、交流を活発に行っていきます。</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p>逆境を飛躍に変え、元気で活気に満ちたまち</p> </div> <p>震災により甚大な被害を受けたこの逆境に負けず、温暖な気候や従来からの強み産業など南相馬市の個性や特長を生かし、地域産業の振興や地域の活性化、産業の創出などを通じ、まちに活気を生み出します。特に、小高区については市街地の再整備を推進していきます。</p> <p>今回の震災において全国からさまざまな支援をいただいたことから、その縁を大切にし、「元気な南相馬市」の姿を届けるため、交流を活発に行っていきます。</p>
P 2 1	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p>市民生活を取り戻し、地域、世代をつなぎ思いやりあふれるまち</p> </div> <p>震災によって、親が元気に子どもと遊び、それを高齢者世代が見</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p>市民生活を取り戻し、地域、世代をつなぎ思いやりあふれるまち</p> </div> <p>震災によって、親が元気に子どもと遊び、それを高齢者世代が見</p>

<p>守るといふ、どこにでもあつた日常の風景が失われました。そういつた当たり前前生活を取り戻すため、地域で安心して子どもを産み育てられる環境や、高齢者が生き生きとした生活を送れるよう福祉・介護サービスなどの充実を図ることで市民の生活環境を向上させるとともに、現在市外に避難している市民も安心してふるさとに帰れる環境を整備し、子どもからお年寄りまでお互いに思いやりをもって暮らすまちを目指します。</p> <p>また、地域コミュニティを再生し、地域の絆を深めることにより、地域自らが主体となって進めるまちづくりを推進します。</p>	<p>守るといふ、どこにでもあつた日常の風景が失われました。そういつた当たり前前生活を取り戻すため、地域で安心して子どもを産み育てられる環境や、高齢者が生き生きとした生活を送れるよう福祉・介護サービスなどの充実を図り、現在市外に避難している市民が安心してふるさとに帰れる環境を整備し、子どもからお年寄りまでお互いに思いやりをもって暮らすまちを目指します。</p> <p>また、地域コミュニティを再生し、地域の絆を深めることにより、地域自らが主体となって進めるまちづくりを推進します。</p>
<p style="text-align: center;">人を育み、郷土を愛し、若い世代が夢と希望を持てるまち</p> <p>子どもたちが地域を担う「人財」となるよう、学力や体力の向上を目指すのはもちろん、まちの歴史や文化にふれることにより郷土愛を醸成する取り組みを進め、このまちで育ったことを誇りに思えるまちづくりを目指します。こうして育った人たちが協力し、魅力あるまちを実現できるよう支援を進めます。</p> <p>また、子どもたちが本市で暮らし続けることに夢と希望を持ち続けることのできる環境の整備を進めます。</p>	<p style="text-align: center;">人を育み、郷土を愛し、若い世代が夢と希望を持てるまち</p> <p>子どもたちが地域を担う人材となるよう、学力向上を目指すのはもちろん、まちの歴史や文化にふれることにより郷土愛を醸成する取り組みを進め、こうして育った人材が協力し、魅力あるまちを実現できるよう支援を進めます。</p> <p>また、子どもたちが本市で暮らし続けることに夢と希望を持ち続けることのできる環境の整備を進めます。</p>
<p style="text-align: center;">原発事故を克服し、誰もが安全・安心に暮らせるまち</p> <p>震災に伴う原発事故を克服し、自然との共生により原子力に依存しない安全・安心のまちづくりを推進するため、あらゆる英知を結</p>	<p style="text-align: center;">原発事故を克服し、誰もが安全・安心に暮らせるまち</p> <p>震災に伴う原発事故を克服し、原子力に依存しない安全・安心のまちづくりを推進するため、あらゆる英知を結集しながら、市民が</p>

	<p>集しながら、市民が放射能に不安を抱くことなく暮らすことができるまちの実現を目指します。</p> <p>また、地震、津波などの大きな災害に対しては、今回の震災での経験を踏まえ十分な備えを行うことで、誰もが安全・安心に暮らせる環境を整備します。</p>	<p>放射能に不安を抱くことなく暮らすことができるまちの実現を目指します。</p> <p>また、地震、津波などの大きな災害に対しては、今回の震災での経験を踏まえ十分な備えを行うことで、誰もが安全・安心に暮らせる環境を整備します。</p>
基本指針 2 健康で安心して暮らすことができるまちづくり		
P 2 4	<p>全国的に少子化が進む中、次世代を担う子どもを地域の宝ととらえ、子どもを取り巻く医療環境や安全に遊ぶことのできる環境の充実を図るとともに、<u>地域全体で子どもを育てる仕組みづくりを推進するなど</u>、安心して子どもを産み育てることのできる環境の整備を進めます。</p> <p>一人世帯が増加する中で、市民一人ひとりが自ら積極的に取り組む健康づくりや、高齢者ができるかぎり介護を必要とすることなく生活するための介護予防ができる環境の整備を進めます。</p> <p>生産年齢人口の避難や転出が増加したことにより、医療や介護のスタッフが不足していることから、安心して生活するためのマンパワーの確保を図るとともに、地域医療の充実や適切な介護サービスが受けられる環境の整備を図ります。</p> <p>原発事故による放射線被ばくへの不安が市外避難者の帰還や転入の妨げになっていることから、放射性物質による汚染への対策として除染を確実に進めるとともに、放射線の影響を正しく理解できる環境を整え、放射線被ばくに対する市民の健康不安の解消を図ります。</p> <p>年齢・性別・障がいなどにとらわれることなく、一人の人間とし</p>	<p>全国的に少子化が進む中、次世代を担う子どもを地域の宝ととらえ、子どもを取り巻く医療環境や安全に遊ぶことのできる環境の充実を図るなど、安心して子どもを産み育てることのできる環境の整備を進めます。</p> <p>一人世帯が増加する中で、市民一人ひとりが自ら積極的に取り組む健康づくりや、高齢者ができるかぎり介護を必要とすることなく生活するための介護予防ができる環境の整備を進めます。</p> <p>生産年齢人口の避難や転出が増加したことにより、医療や介護のスタッフが不足していることから、安心して生活するためのマンパワーの確保を図るとともに、地域医療の充実や適切な介護サービスが受けられる環境の整備を図ります。</p> <p>原発事故による放射線被ばくへの不安が市外避難者の帰還や転入の妨げになっていることから、放射性物質による汚染への対策として除染を確実に進めるとともに、放射線の影響を正しく理解できる環境を整え、放射線被ばくに対する市民の健康不安の解消を図ります。</p> <p>年齢・性別・障がいなどにとらわれることなく、一人の人間として尊重され、互いに思いやりを持って生き生きと暮らすために、生</p>

	<p>て尊重され、互いに思いやりを持って生き生きと暮らすために、生活基盤や社会参加のしくみが充実したまちを目指します。</p>	<p>活基盤や社会参加のしくみが充実したまちを目指します。</p>
<p>基本指針5 自ら学び、自ら考え、生きぬく力を育むまちづくり</p>		
<p>P 2 6</p>	<p>本市の将来を担う子どもたちが夢や希望を持ちながら、「確かな学力」「豊かな心」「健やかなからだ」をバランスよく育むことを基本とし、この震災を通じた経験や教訓も生かした「自ら学び、自ら考え生きぬく力」を身につける教育に取り組みます。</p> <p>本市の将来の安全・安心につながる、<u>環境や放射能に関する教育など</u>、被災都市ならではの独自性の高い教育研究機関、教育プログラムなどの創設に向けた取り組みを進めます。</p> <p>誰もが生涯にわたり学ぶことができる環境や、気軽に芸術・文化活動に親しむ機会を充実させるとともに、コミュニティの分断などにより停滞している各種文化活動の活発化を促進します。</p> <p>子どもの健全な育成や市民の体力の向上を図るため、スポーツを楽しむ機会を充実させるとともに、各種大会の誘致やスポーツ交流を推進します。</p> <p>地域固有の文化及び文化財の保存整備と継承活動を通じて、市民の郷土の歴史文化に対する理解を高め、本市に伝わる報徳仕法の「至誠」、「一円融合」などの教えが普及実践され、市民一人ひとりの思いやりの心と、市民の一体化が涵養されるまちを目指します。</p>	<p>本市の将来を担う子どもたちが夢や希望を持ちながら、「確かな学力」「豊かな心」「健やかなからだ」をバランスよく育むことを基本とし、この震災を通じた経験や教訓も生かした「自ら学び、自ら考え生きぬく力」を身につける教育に取り組みます。</p> <p>本市の将来の安全・安心につながる、被災都市ならではの独自性の高い教育研究機関、教育プログラムなどの創設に向けた取り組みを進めます。</p> <p>誰もが生涯にわたり学ぶことができる環境や、気軽に芸術・文化活動に親しむ機会を充実させるとともに、コミュニティの分断などにより停滞している各種文化活動の活発化を促進します。</p> <p>子どもの健全な育成や市民の体力の向上を図るため、スポーツを楽しむ機会を充実させるとともに、各種大会の誘致やスポーツ交流を推進します。</p> <p>地域固有の文化及び文化財の保存整備と継承活動を通じて、市民の郷土の歴史文化に対する理解を高め、本市に伝わる報徳仕法の「至誠」、「一円融合」などの教えが普及実践され、市民一人ひとりの思いやりの心と、市民の一体化が涵養されるまちを目指します。</p>